

[岡第9420部隊]

南方軍防疫給水部の記録を探し求めて

リム・シャオビン (Lim Shao Bin, 林 少彬)
太平洋戦争史研究者
2019年11月23日

1

南方軍防疫給水部

目次

- ・ 東南アジアの背景： 東南アジアと日本軍、『輸出型』
- ・ 南防給調査現状： 組織、分布、人数、不明点多く
- ・ 必須条件： 高温高湿
- ・ 設立： 慌てた経過
- ・ 機能： 南防給本部とマレー支部
- ・ 業務-1： 防疫給水（軍陣、占領地）、防疫報
増田知真のフィルム
- ・ 業務-2： 細菌兵器（研究、生産）
- ・ 戦後の解体： 名称変更、いい加減報告

2

南方軍防疫給水部

目次

・ 東南アジアの背景： 東南アジアと日本軍、『輸出型』

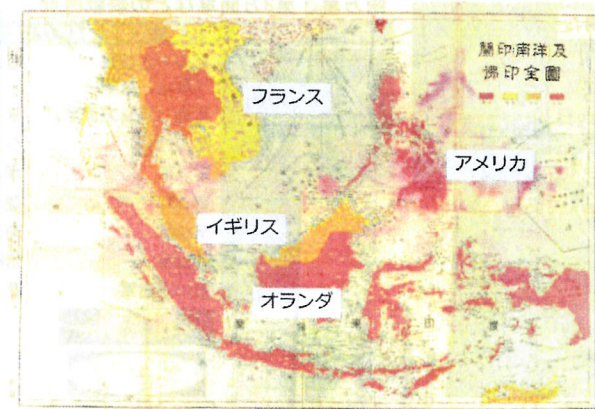
3

背景説明-1

東南アジアの背景

東南アジアは

- 列強の植民地でした
- 戦後それぞれ独立した
- 独立した後も強い影響を受けられている：教育、法律、言語、公文書システム

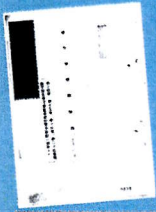


4

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

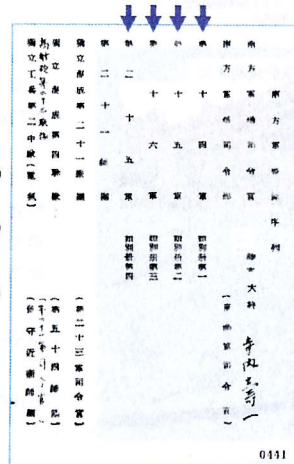
背景説明-2

来た日本軍
(戦争初期)



南方軍:

- 第14軍: フィリピン 渡(わたり)
- 第15軍: ビルマ 林(はやし)
- 第16軍: インドネシア 治(おさめ)
- 第25軍: マレー 岡(おか)

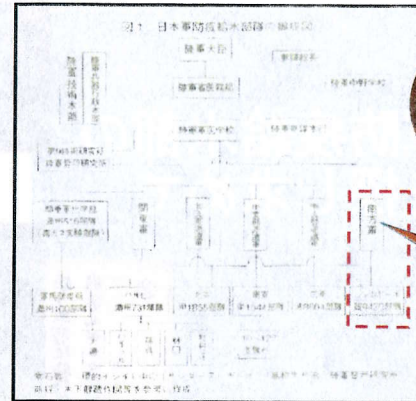


1941年11月6日
南方軍戦闘序列
アジ歴: C1406000900

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

背景説明-2

南方軍
の管轄地域?



2017年6月
ページ49

地域は
戦場の変化で
変化する

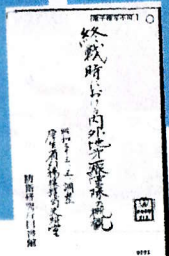
対照的に、
中国の關東、北支、中
支、南支は変化し難い

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

背景説明-2

1945年
8月15日

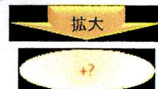
終戦時
去る南方軍



南方軍、第8方面軍などの終戦概況

(内地、朝鮮、台湾、関東軍、支那を除く) アジ歴の表示順

ビルマ方面軍 (第15、33軍)	ビルマ
比島 (第14方面軍)	フィリピン
第7方面軍	シン、マレー、ジャワ
第37軍	ボルネオ
第2軍	濠北
第18軍	南部ニューギニア
第38軍	仏印
第18方面軍	泰



終戦時
後に
於ける
南方軍
一般の
状況

1945年8月15日
終戦時 部隊 概況
アジ歴: C15010231700

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

背景説明-2

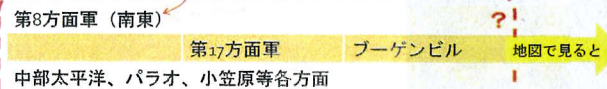
1945年
8月15日

終戦時の
南方プラス?

南方軍、第8方面軍などの終戦概況

(内地、朝鮮、台湾、関東軍、支那を除く)

ビルマ方面軍	ビルマ
比島	フィリピン
第7方面軍	シン、マレー、ジャワ
第37軍	ボルネオ
第2軍	濠北
第18軍	南部ニューギニア
第38軍	仏印
第18方面軍	泰



1945年8月15日
終戦時 部隊 概況
アジ歴: C15010231700

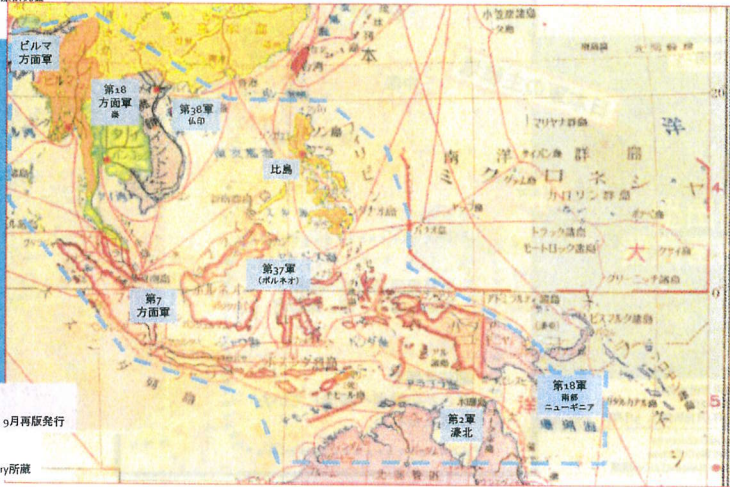
15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

背景説明 - 2

1945年
8月15日

終戦時の
南方軍

地図で見る



大東亜共栄圏地図帖
日本地図 (株)
昭和19年3月初版発行、9月再版発行

B30160350G (Zoom In)
Lim Shao Bin Collection
Singapore National Library所蔵

9

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

背景説明 - 2

1945年
8月15日

南方軍
の
管轄外?



大東亜共栄圏地図帖
日本地図 (株)
昭和19年3月初版発行、9月再版発行

B30160350G (Zoom In)
Lim Shao Bin Collection
Singapore National Library所蔵

10

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

背景説明 - 2

ソロモン諸島の中のブーゲンビル島



見藤千代治著
みずすまし
2006年3月1日第1刷発行

第17方面軍
第六師団
防疫給水部

東亜共栄圏西太平洋地図
日本誠刊社研究部 小川彦平編
昭和17年3月10日発行

B30160296E (Zoom In)
Lim Shao Bin Collection
Singapore National Library所蔵

11

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

南方関連の
名簿リスト
(上)

表3. 国立公文書館デジタルアーカイブにおいてキーワード「防疫給水」かつ「留守名簿」で
2015年に検索できた名簿一覧

No	概要情報	厚生省作成年月日
1	留守名簿 (南方) 第12防疫給水部第9362部隊	昭和20年09月01日
2	留守名簿 (南方) 第8防疫給水部第8605部隊 チモール島	昭和20年01月01日
3	留守名簿 (南方) 第24野戦防疫給水部第2627部隊 ニューブリテン島ラバウル	昭和20年08月15日
4	留守名簿 (南方) 第2軍第27野戦防疫給水部第5753部隊 西部ニューギニア	昭和21年05月10日
5	留守名簿 (南方) 第19軍第28野戦防疫給水部第6066部隊 ハルマヘラ	昭和20年01月01日
6	留守名簿 (南方) 第19軍第2防疫給水部第5170部隊 セラム	昭和20年09月10日
8	留守名簿 (南方) 第18軍第20師団防疫給水部第2067部隊 東部ニューギニア	昭和21年02月
9	留守名簿 (南方) 第17軍第17防疫給水部第8607部隊 ブーゲンビル島	昭和19年12月30日
10	留守名簿 (南方) 第23野戦防疫給水部第2626部隊 東部ニューギニア	昭和21年04月10日
11	留守名簿 (南方) 第25野戦防疫給水部第2628部隊 東部ニューギニア	昭和21年04月
14	留守名簿 (南方) 関東軍防疫給水部 サイパン島	昭和21年
16	留守名簿 (南方) 第23防疫給水部第2626部隊 バラオ	昭和18年12月01日
17	留守名簿 (南方) 第30野戦防疫給水部第12368部隊	昭和20年01月01日
18	留守名簿 (南方) 南方軍防疫給水部マニラ支部高武第9420部隊	昭和22年03月10日

宗須重雄
2018年12月 NPO731会報第28号

12

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

南方関連の名簿リスト (下)

19	留守名簿 (南方) 第19師団防疫給水部陸軍8517部隊	フィリピン	昭和19年12月31日
20	留守名簿 (南方) 第106師団防疫給水部陸軍12363部隊		昭和19年
21	留守名簿 (南方) 第103師団防疫給水部陸軍12523部隊	比島	昭和20年01月01日
22	留守名簿 (南方) 第23師団防疫給水部陸軍1206部隊		昭和20年01月01日
23	留守名簿 (南方) 第16師団防疫給水部陸軍5469部隊	レイテ島	昭和22年03月06日
24	留守名簿 (南方) 第102師団防疫給水部陸軍12424部隊	フィリピン	昭和20年01月01日
25	留守名簿 (南方) 第1師団防疫給水部陸軍1201部隊		昭和20年01月01日
26	留守名簿 (南方) 第109師団防疫給水部陸軍12421部隊		昭和20年01月01日
27	留守名簿 (南方) 第30師団防疫給水部陸軍12040部隊		昭和20年01月01日
28	留守名簿 (南方) 第8師団防疫給水部陸軍1202部隊		昭和20年01月01日
29	留守名簿 (南方) 第10師団防疫給水部陸軍5462部隊	フィリピン	昭和19年12月31日
30	留守名簿 (南方) 第33野戦防疫給水部陸軍12022部隊	仏印	昭和20年09月04日
31	留守名簿 (南方) 第21師団防疫給水部陸軍4246部隊	北部ビルマ	昭和20年01月01日
32	留守名簿 (南方) 第34野戦防疫給水部陸軍12113部隊	タイ国	昭和20年06月20日
33	留守名簿 (南方) 第4師団防疫給水部陸軍4096部隊	タイ国	昭和20年06月20日
34	留守名簿 (南方) 第22野戦防疫給水部陸軍2625部隊	ビルマ国	昭和20年11月01日
35	留守名簿 (南方) 第76野戦防疫給水部陸軍10282部隊		昭和21年07月01日
36	留守名簿 (南方) 第29野戦防疫給水部陸軍12367部隊		昭和20年01月01日
37	留守名簿 (南方) 第54師団防疫給水部陸軍10128部隊	ビルマ	昭和19年12月31日
38	留守名簿 (南方) 第55師団防疫給水部陸軍5428部隊		昭和20年01月01日
39	留守名簿 (南方) 第53師団防疫給水部陸軍10041部隊		昭和19年12月31日
40	留守名簿 (南方) 南方軍防疫給水部陸軍9420部隊	マライ	昭和20年09月01日
41	留守名簿 (南方) 第94師団防疫給水部陸軍18513部隊	マライ	昭和20年08月31日
42	留守名簿 (南方) 第2師団防疫給水部陸軍1318部隊	仏印	昭和20年01月01日
43	留守名簿 (南方) 第56師団防疫給水部陸軍6747部隊	ビルマ	昭和20年01月01日
44	留守名簿 (南方) 第16師団防疫給水部陸軍1016部隊	ビルマ国	昭和19年11月30日
45	留守名簿 (南方) 第31師団防疫給水部陸軍10713部隊		昭和20年01月01日
46	留守名簿 (南方) 第33師団防疫給水部陸軍6634部隊		昭和20年01月01日
47	留守名簿 (南方) 第49師団防疫給水部陸軍18716部隊		昭和19年12月31日

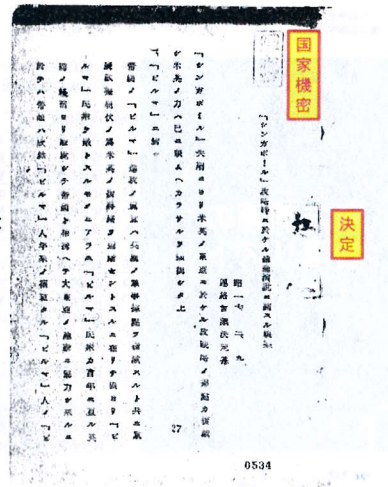
宗須重雄
2018年12月 NPO731会報第28号

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

シンガポール攻略の戦略

『シンガポール』攻略時に於ける総理演説に関する腹案
昭和17年2月9日
連絡会議決定

「ビルマ」に対し
帝国は「ビルマ」進攻の真意は
英国の軍事拠点を覆滅する
と共に重慶政権屈伏の為
米英の援給路を遮断。。。



アジ歴: C12120211600

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

背景説明 - 3

輸外型
細菌武器

大東亜共栄圏地図帖
日本地図 (特)
昭和19年3月初版発行、9月再版

Bj0160306 (Zoom In)
Lim Shao Bin Collection
Singapore National Library所蔵



戦略資源を日本へ輸出:
石油、ゴム、錫、米など

細菌武器も
どこかの戦場へ輸出していた
と考えられる

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

毒ガス?

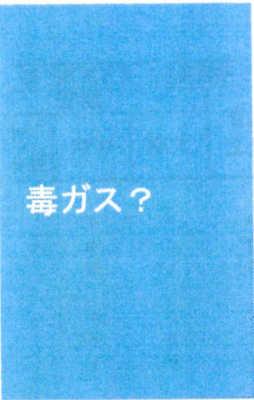


シンガポールを周る (1941年)
第3884部隊 (近衛歩兵第五聯隊)
Lim Shao Bin Collection



敵軍ガス筒を攻撃中

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



シンガポールを覆る (1943年)
宮3884部隊 (近衛歩兵第五聯隊)
Lim Shao Bin Collection



敵毒ガスの攻撃現場

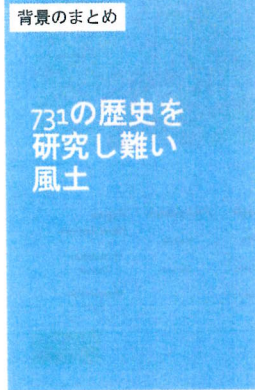
イギリス軍が機密化したマスクなど



シンガポール
シティ・ホール

2010年1月Lim Shao Bin撮影

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



現在の東南アジア及び太平洋諸国

- ・過去、地元被害を受けていなかった
- ・現在、日本との貿易（防疫ではなく）を優先
- ・日本語解らない
- ・研究補助金が少ない
- ・など。。

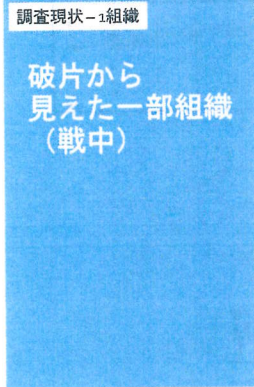


15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



南方給調査現状： 組織、分布、人数、不明点多く

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



南方軍防疫給水部
人員一覧表
昭和17年5月5日

職種	人数
兵科	2
技術部	
経理部	5
衛生部	124
軍医：技師	
軍医：技手	
判任文官	15
軍医：雇員 (傭人)	
合計	146

南京

シンガポール人の証言：
・ ベスト菌研究室
・ マラリア研究室
・ 破傷風菌研究室

など

昭和十九年一月三十一日調「南方軍防疫給水部職員表」南方軍防疫部

部隊	所在地	階級		
		佐官以上	大尉	中尉
南方軍防疫給水部				
本部	昭南	4	4	4
泰新通信	カオノナマツ	1	0	4
中印防疫部	シンガポール	1	1	3
シンガポール防疫給水部				
第一班	シマウイタ	0	0	4
第二班	スマバキ	0	0	1
第三班	バタビ	0	0	1

大快
クワラピラ

マニラ
名簿

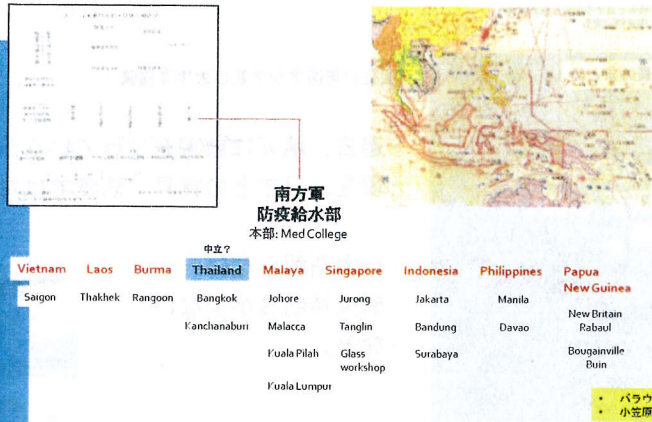


増田
ビルマ
マラッカ
ガラス町工場

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

調査現状-1組織

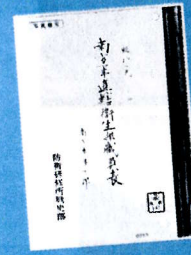
集めた
岡9420部隊の
資料の中に
現れた地名



15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

調査現状-1組織

組織について
(戦中)



表紙
昭和19年1月31日
アジ歴: C14060130500

昭和十九年一月三十一日調『南方軍直轄衛生部職員表』南方軍軍医部

部隊	所在地	佐官 以上	尉官		
			大尉	中尉	少尉
南方軍防疫給水部					
本部	昭南	4	4	4	
泰派遣隊	カンチャナブリ	1	0	4	
マライ支部	ジョホール	1	1	3	
ジャワ派遣防疫給水班:					
	第一班: ジャカルタ	0	0	4	
	第二班: スラバヤ	0	0	1	
	第三班: バンドン	0	0	1	

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

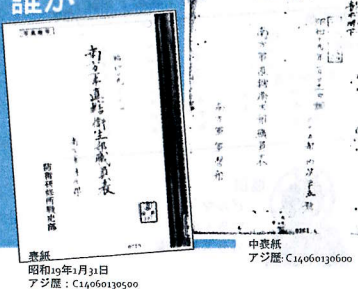
調査現状-1組織

どの部隊
どこに
誰が

人数
集計
(リム)

昭和十九年一月三十一日調『南方軍直轄衛生部職員表』南方軍軍医部 C14060130500 (0271-0274)

部隊	所在地	佐官 以上	尉官					衛生兵 計 平均		
			大尉	中尉	少尉	准尉	曹長			
南方軍防疫給水部										
本部	昭南	4	4	4	2	2	6	2	56	88
泰派遣隊	カンチャナブリ	1	0	4	2	2	4	2	8	87
マライ支部	ジョホール	1	1	3	1	1	0	3	54	63
ジャワ派遣防疫給水班:										
	第一班: ジャカルタ	0	0	4	1	2	5	4	25	41
	第二班: スラバヤ	0	0	1	0	1	2	0	21	26
	第三班: バンドン	0	0	1	0	0	2	2	11	16
										140



表紙
昭和19年1月31日
アジ歴: C14060130500

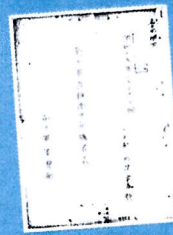
中表紙
アジ歴: C14060130600

0271

0274

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

1944年1月末
南防給職員表
(軍医部)



中表紙
アジ歴: C14060130600

計340人

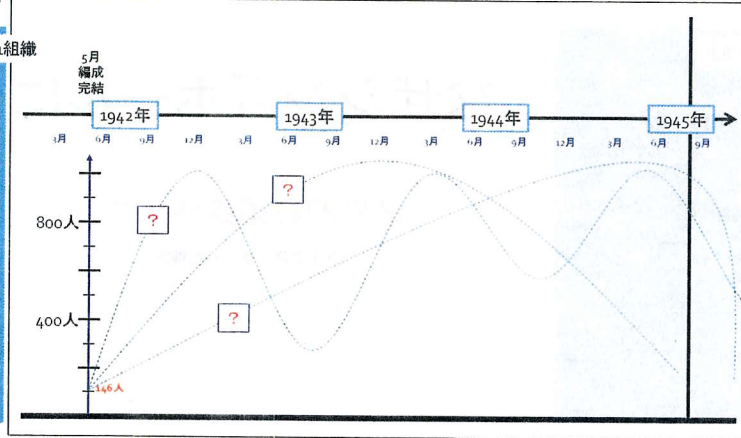
部隊	所在地	佐官以上	大尉	中尉	少尉	准尉	曹長	衛生兵	
本部	昭南	4	4	4	2	2	6	2	56
泰派遣隊	カンチャナブリ	1	0	4	2	2	4	2	8
マライ支部	ジョホール	1	1	3	1	1	0	3	54
ジャワ派遣防疫給水班:									
	第一班: ジャカルタ	0	0	4	1	2	5	4	25
	第二班: スラバヤ	0	0	1	0	1	2	0	21
	第三班: バンドン	0	0	1	0	0	2	2	11

岡本利夫
久保田満夫
太田正治
早川清
羽山良雄

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

調査現状-1組織

南防給
の
人員
増減
???

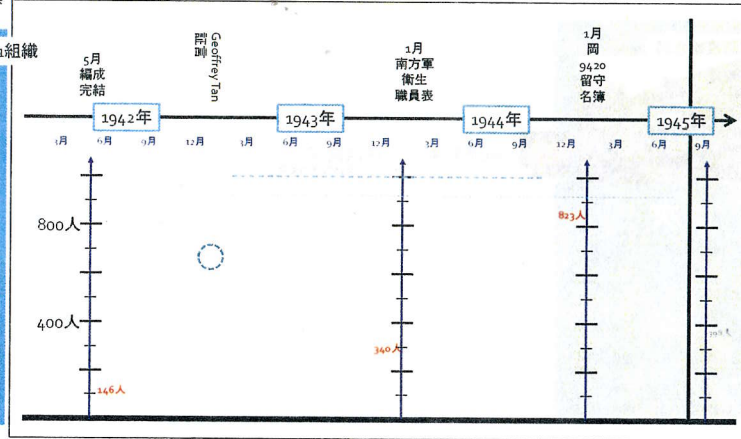


25

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

調査現状-1組織

史料
及
証言
の
時間

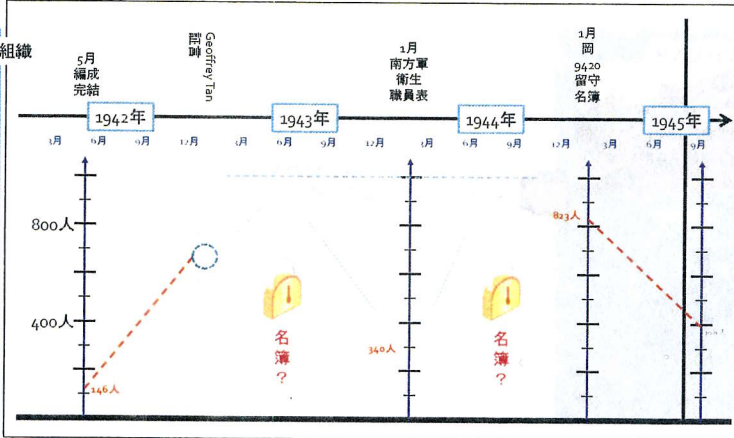


26

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

調査現状-1組織

謎を
解く
鍵?



27

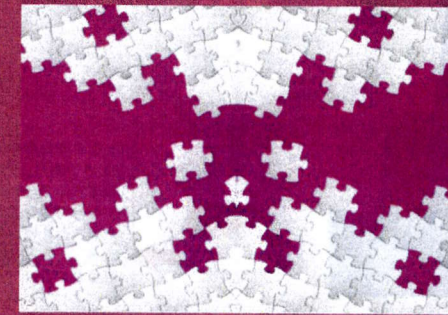
15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

調査現状のまとめ

全体像

まだ欠けている部分が多い:

- ・ 支部名、場所（国と都市）、任務、責任者と人数。。。。
- ・ 関連施設名、場所、任務、責任者と人数。。。。



28

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

南方軍防疫給水部



目次



必須条件： 高温高湿

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

南下の理由

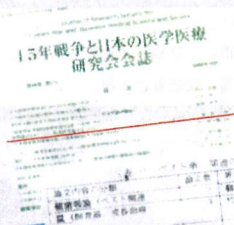
なぜシンガポールに

必然的必須条件は？

ペスト部隊が南下した理由

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

南下の理由



『陸軍軍医学校防疫研究報告Ⅱ部』の分析(その三) 研究報告中の「ペスト」関連研究論文について

藤 昭三
城北高院

"Rikugun Gun-igakko Bokki Kenkyu Hokoku-Iibu"-3
Papers related to Rat, *Xenopsylla* and *Pasteurella pestis*
AZAMI Shozo
Tokoku University

論文番号	著者	題名	掲載誌
188	藤昭三	ペスト菌の生存力	防疫研究報告
245	藤昭三	ペスト菌の生存力	防疫研究報告
32	藤昭三	ペスト菌の生存力	防疫研究報告
536	藤昭三	ペスト菌の生存力	防疫研究報告
517	藤昭三	ペスト菌の生存力	防疫研究報告



・ 蚤の寿命の研究では、夏は 20~30 日、秋は 15~20 日であり、一般的には羽化後 15 日前後で大半が死滅する (188, 245 号) としている。

・ 蚤の好適温度は 22 度 C 前後、好適湿度は 76% であることを明らかにし (32 号)、繁殖、孵化は 27~30 度 C、湿度 90% で最大であり、前蛹期、蛹期ともに温度の低下でその期間は延長する (536 号、517 号) としている。

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

南方軍防疫給水部

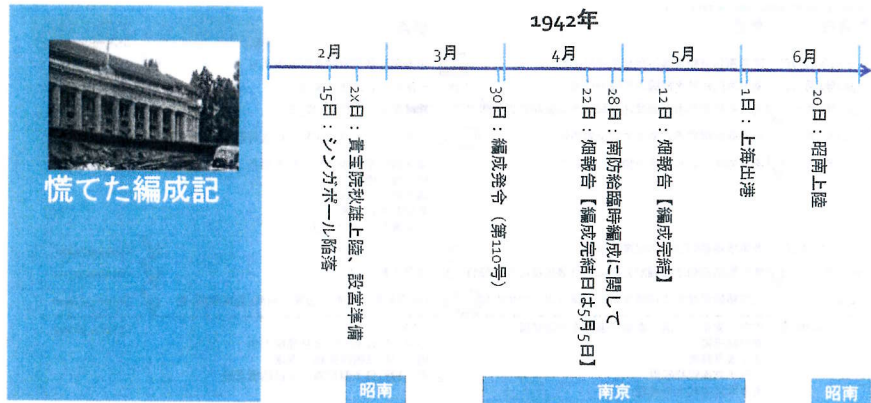


目次



設立： 端てた経過

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

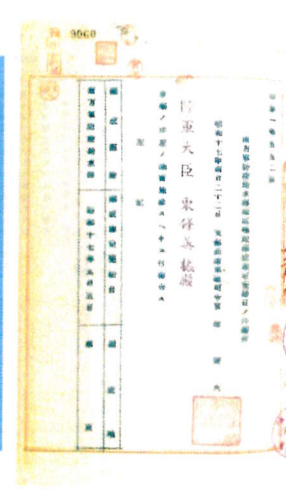


33

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

編成予定

畑俊六から
東条英機への
編成予定
報告



昭和17年4月22日
アジ歴: C0412795300

34

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

編成官と編成地

編成官は
増田知貞

中国語のサイト:
増田知貞は中支防疫給水部長、
1941年2月~1945年

提供: 奈須理華
NPO 731資料センター

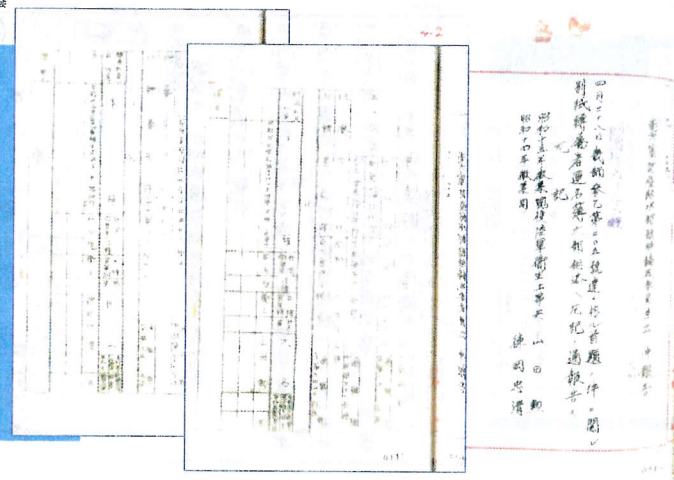


35

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

編成要員差出

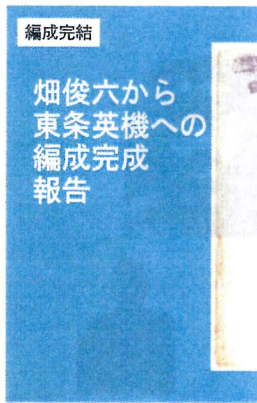
衛生
上等兵
2名差出



提供: 奈須理華
NPO 731資料センター

36

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



畑俊六から
東条英機への
編成完成
報告

昭和17年5月12日
アジ歴：Co1000534700



陸支密

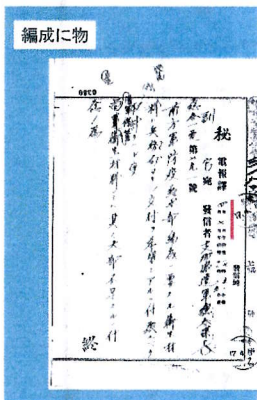
15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

日本と中国から生まれた岡部隊

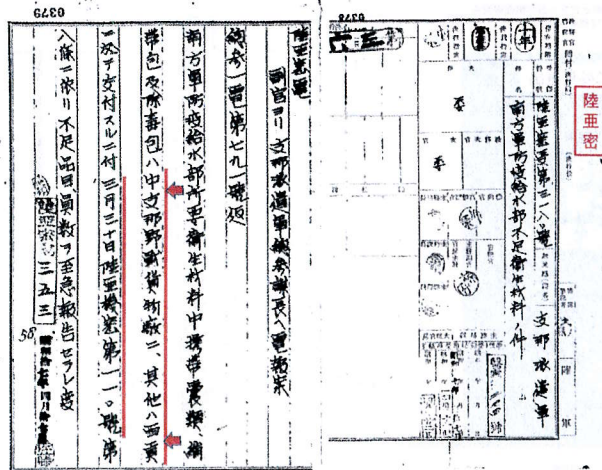
年月日	件名	要点	アジ歴レファレンス・コード
1942年4月7日	南方軍防疫給水部不足衛生材料の件	中支那野戦貨物廠及び西貢より	Co1000225500
1942年4月21日	南方軍防疫給水部編成要領の受領	一度失くした秘信書類	Co1000234300
1942年4月22日	南方軍防疫給水部編成地並編成予定完結日の件報告	編成完結予定日：5月5日	Co4123796300
1942年4月23日	臨時編成部隊不足衛生材料交付の件	日本、中支より南防給に衛生材料と判任官1名	Co4123781600
1942年4月28日	南方軍防疫給水部臨時編成に関して	編成担任官：中支防疫給水部長 編成地：南京 編成完結：5月5日 兵団文字符：栄 一連番号：九四二〇	(不明)
1942年5月2日	軍事極秘書類交付相成度件申請	情報	Co4123779200
1942年5月12日	南方軍防疫給水部編成完結に伴う書類提出の件報告	初期人員146人	Co1000534700
1942年6月3日	南方補給用並防疫用衛生材料（第五次）交付の件	6か月分衛生材料、西貢と昭南1名馬尼刺2名	Co1000346400
1966年6月	南方・支那・台湾・朝鮮方面陸上部隊略歴 第四回追録 厚生省探護局 マライ方面部隊略歴 南方軍防疫給水部略歴	"0066" 42年4月1日軍令により編成下令 同、5月5日編成完結（南京） 同、6月1日上海出港、20日昭南上陸	C12122498100

リム検索結果一覧 (A)

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



1942年4月7日
アジ歴Co1000225500

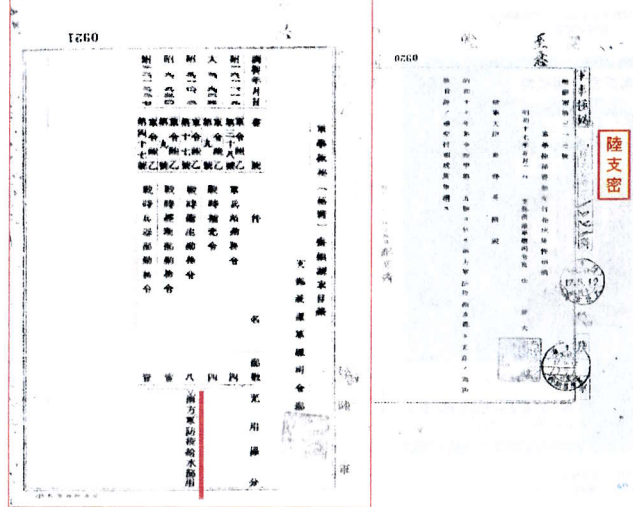


陸支密

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



1942年5月2日
アジ歴：Co4123779200



陸支密

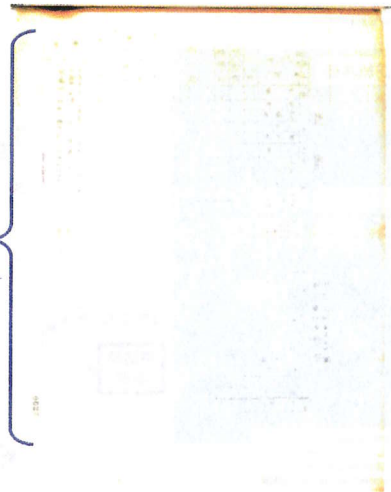
15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

編成に人

各地から南京

南方軍防疫給水部
人員一覧表
昭和17年5月5日

兵種	人数
兵科	2
技術部	
経理部	5
衛生部	124
軍属：技師	
軍属：技手	
判任文官	
軍属：雇員 (傭人)	15
合計	146
(不足)	(62)



昭和17年5月12日
アジ歴：C01000534700

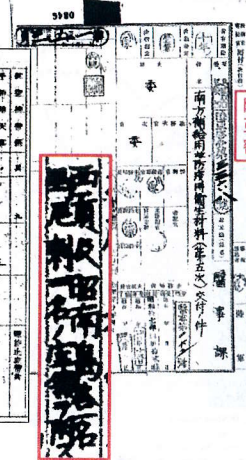
15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

編成に物十人

6か月分
衛生材料
+
宰領者

58ページ分：防疫給水材料 重要な参考資料

9260		2590	
品名	数量	品名	数量
...



1942年6月3日
アジ歴：C01000316400

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

南方軍防疫給水部

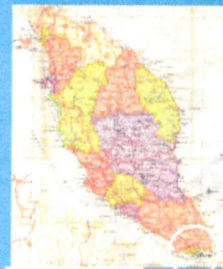


目次

機能： 南防給本部とマレー支部

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

マレー & シンガポール



1963年マレーシア測量部
B29245202D
Lim Shao Bin Collection
Singapore National Library所蔵



南方軍防疫給水部 本部ビル



マレー支部 時計塔事務所

- 登録
- 軍服
- 給与計算
- 研修プログラム
- 資材管理
- 防疫
- 給水
- 細菌研究
- 細菌兵器製造
- 細菌兵器輸出 など

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



45

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



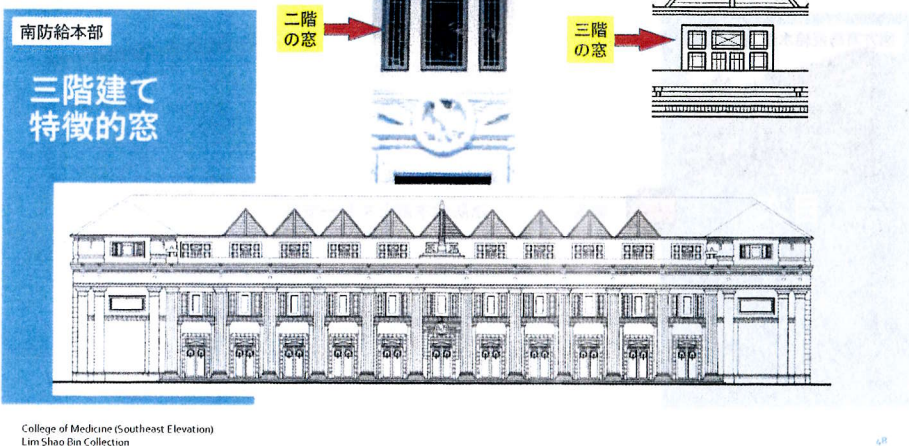
46

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



47

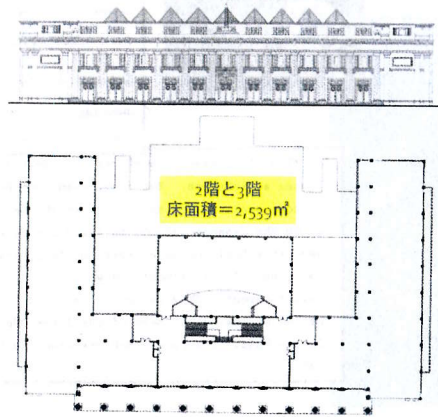
15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



48

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

平面図と 床面積



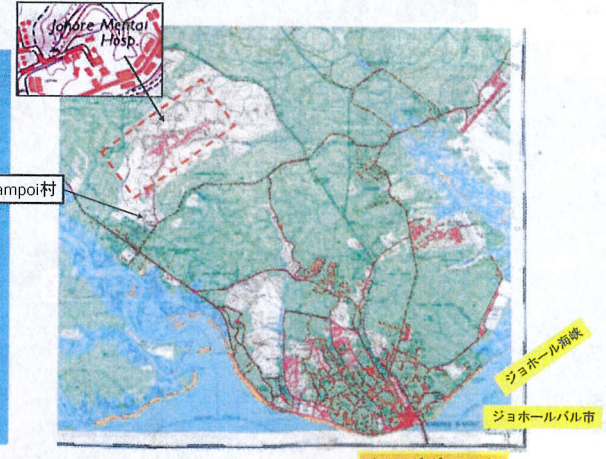
College of Medicine
Lim Shao Bin Collection

49

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

マレー支部

タムポイ 裏の 岡の上に



1959年Map of Johore
Lim Shao Bin Collection

50

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

マレー支部

元タンポイ精神病院＝岡第9420部隊のマレー支部 受付及管理棟の時計塔がランドマーク



2016年2月Lim Shao Bin撮影

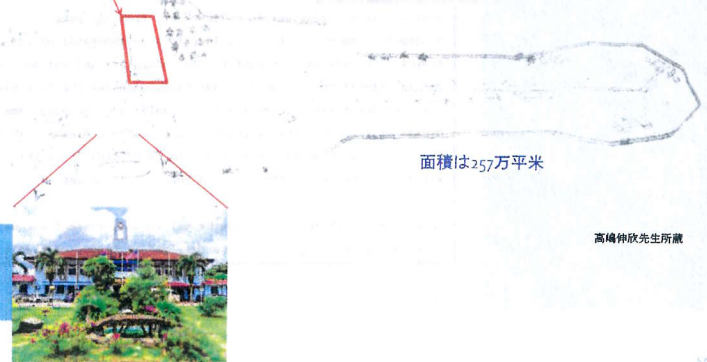
51

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

マレー支部

タムポイ職員手書きの病院鳥瞰図

竹花京一証言：
江本修治大尉担当の
『毒化』研究室



高嶋伸政先生所蔵

52

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

マレー支部



53

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

南防給の“製品”

シンガポール
地元の証言：

オツマン・ウオク
元社会福祉大臣



ORAL HISTORY INTERVIEW
INTERVIEWEE: Otsman Wok
DATE AND PLACE OF INTERVIEW: 3 December 1981
INTERVIEWER: Nita Poo Kim Leng
TRANSCRIBER: Mee Moon-Yang Lee Young
DATE TRANSCRIBED: 3 February 1982

At first I refused to work for the Japanese. I went to sea to become a fisherman. But then, when time became harder, I had to come back. Again my father was the man who persuaded me to go to the Japanese school to learn the Japanese language. So I went to school for about three months, knew a little bit of Japanese. I left school and worked in a Japanese military establishment. They called it the 'butai' which occupied part of the medical department of the former University of Malaya at Outram Road. I became a lab assistant in the anti-plague laboratory.

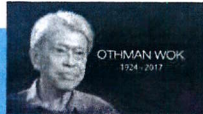
Anti-Plague
抗ペスト菌

日本軍の施設
“部隊”
マレー大学
の医学部

54

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

南防給の“製品”



What we did everyday was to collect rats from all over Singapore. We went out in big lorries with thousands of rat traps. The rats were brought to the laboratory and one by one put in chloroform, and as each was half conscious the body was searched for fleas. These fleas were later fed the blood and organs of rats which had already died of bubonic plague. Then these fleas were mixed and reared with other fleas. In this way all of them were infected with bubonic plague germs.

Once in every three to four months millions of these fleas were taken alive in big glass jars to Thailand by train. I didn't

3~4か月ごとに タイ国へ 大きなガラスジャー 汽車で

55

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

南防給本部として

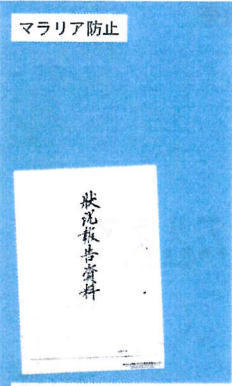
アジ歴で公開された1942年の資料

年月日	件名	要点	アジ歴コード
1 1942年7月25日	南防給に衛生材料保管転換	陸軍医学学校から遺心沈降器	C01000494500
2 1942年9月5日	南防給に衛生材料補填	中支那野戦貨物廠から	C01000628600
3 1942年9月	軍事極秘書類配布換	支那派遣軍総司令部より四種	C04123816400
4 1942年10月	防疫給水部消毒資材運送の件	ダバオから消毒資材一組を	C01000721500
5 1942年10月	南防給に衛生材料交付	日本より購入し、ビルマとジャカルタに	C01000774200
6 1942年12月	南防給に人員増加	支那よりペスト防疫要員	C01000926700
7 1942年12月3日	岡部隊補給用衛生材料交付	陸衛材本廠より第8方面軍ラバウルに衛生材料と判任官三名	C01000883500
蚤養殖用(?)の空缶：			
8 1942年9月25日	9月上旬分運送軍需品調査表送付の件	南方軍に空缶輸送実績	C01000702500

リム検索結果一覧 (8)

56

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



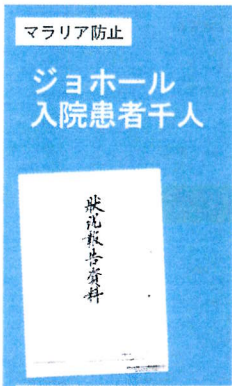
南方軍第七軍管終戦処理 資料1
衛生材料報告部 (南方軍総司令部) 状況報告資料
軍医部 状況報告資料 昭和21年1月16日
アジ歴: C1612002500

区分	入院		在隊		現在人員
	入院患者数	在隊患者数	在隊患者数	在隊患者数	
レナン島	1013	13944	18%	76523	
シアンカール	1728	1728	9.5%	18000	
合計	2741	15720		94523	

マラリア計299人 計5,105人

0665

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



南方軍第七軍管終戦処理 資料1
衛生材料報告部 (南方軍総司令部) 状況報告資料
軍医部 状況報告資料 昭和21年1月16日
アジ歴: C1612002500

区分	入院患者数		在隊患者数		現在人員
	入院患者数	在隊患者数	在隊患者数	在隊患者数	
ジョホール	1220	747	82.6%	11291	
合計	1220	747	82.6%	11291	

0666

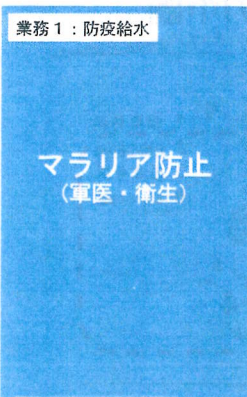
15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



岡9420部隊構内展示された『好、良、不良』排水溝モデル



15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



1943年7月20日発行
現地派遣軍撮影
陸軍省報道部監修
『マライ総観』

B292447804
Lim Shao Bin Collection
Singapore National Library 所蔵

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

業務1：防疫給水

マラリア防止
(軍医・衛生)

マラリア防止
・ マラッカ州立病院
・ クアラルンプール熱帯医学研究所

マラッカ州立病院

インド系の村

1943年7月20日発行
現地派遣軍撮影
陸軍省報道部監修
『マライ総観』

8292447861
Lim Shao Bin Collection
Singapore National Library 所蔵

73

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

業務1：防疫給水

クワラ・
ルムプール
熱帯医学研究所

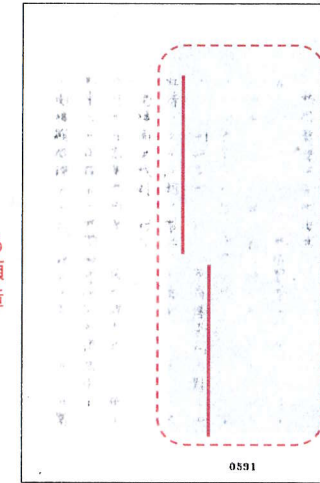
第25軍総司令部
『戦時月報』(軍政関係)

1942年8月から復旧：
家畜伝染病に対する
血清「ワクチン」類
の製造

謎？

戦時月報
戦時月報 家畜関係

昭和17年8月『戦時月報』
アジ歴：C14060531100



74

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

業務1：防疫給水

防疫報

防疫報 第三号
昭和18年3月20日
アジ歴：C13120608700

防疫報告の責任は
・ 軍にあるか？
・ 南防給にあるか？

0543

0542

75

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

南方軍防疫給水部


目次

増田知貞のフィルム

76

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

増田フィルム



増田知貞親族提供
西里扶子所蔵

- ・マレー 08:11
 - ・シンガポール 13:12
 - ・ビルマ 10:46
 - ・インドネシア 08:18
- 40:27



77

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

増田フィルム
説明



- ・白黒
- ・無声
- ・ノイズ強い
- ・多く場所特定できない

ご参考

陸軍省
副官 陸軍衛生材料本廠長(通譯) 佐藤保彦ノ十六批撮影用フィルム(6巻)の巻
命題 昭和十七年三月十四日 陸軍省衛生部ニ交付相成彦依
追テ本件 佐藤保彦ノ陸軍衛生材料本廠長(通譯) 佐藤保彦
算内ニテ 支辨セシレ度申ス

陸軍省第四四四號
昭和十七年三月十八日
衛生部 陸軍省 陸軍省衛生部 陸軍省衛生部 陸軍省衛生部

防務録本部 資料内蔵フィルム更新ノ件
陸軍省 衛生部 陸軍省 衛生部 陸軍省 衛生部

昭和十七年十二月八日
アジア歴: C01000898500

78

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

増田フィルム



マレーの部




08:11

- ・室内ソファに日本軍人2人、ベランダに将校1人
- ・ムアー河沿いで見物人たち
- ・左“ムアー”、右“ジョホールバル”の立札
- ・フェリーに乗った増田の車の窓から見た川渡
- ・“馬拉加州庁”、“自警団総本部”の建物の入り口
- ・マラッカ高校の扉と窓は全部閉じられている
- ・“マラッカ市第一自警団”の看板
- ・世界地図付きの大きな看板に“世界新秩序建設見よ日本の力此の事実”、の文字

79

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

史料に無い
マラッカ高校





2004年4月Lim Shao Bin撮影


80

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

増田フィルム



シンガポールの部



13:12

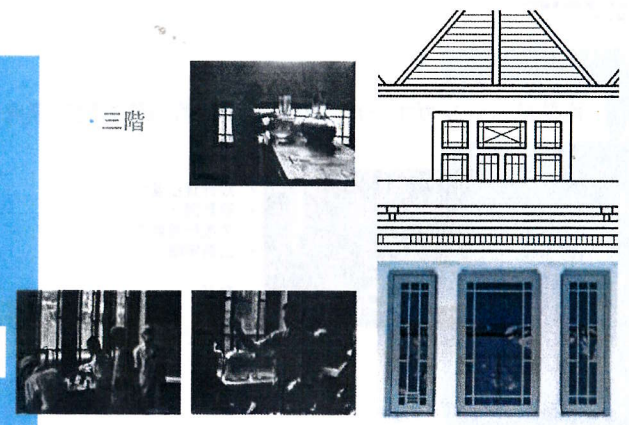
特徴：日の丸をあげた商店並んでいる街

- ・ Victoria Hallの前で、Rafflesの銅像が撤去された。
- ・ Collyer Quay 大通り、海軍事務所の前を通る昭南市電。
- ・ Fullerton Building (元GPO)の前に“軍政監部”の看板
- ・ 竹花の本に出てくる所謂“羽山営門”
- ・ 実験室の内部の様子（2階、3階）
- ・ 排水溝の裏寸模型
- ・ 用途不明小屋敷軒
- ・ 昭南神社の建設現場、初期
- ・ 昭南神社本部建物、宿舍、料校宿舍、営門
- ・ 昭南博物館
- ・ 昭南植物園で猿と遊ぶ増田
- ・ 昭南神社完成直前の様子
- ・ 昭南海軍（元中央）病院
- ・ Selarang捕虜収容所
- ・ チャンギに残された英軍残留の火砲
- ・ ガラス管を生産する町工場

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

二階

三階



15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

ガラス管の町工場

15年戦争と日本の医学医療研究会誌 第10巻1号
・ 番の生態研究から、水平及び垂直飛翔移動距離を調査。それぞれ約9cm、2~9cmとしている（215、218号）。また成虫の発光性、背地性、登板性、(1)

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

ガラス管の用途？

旧型細菌爆弾

推定説明図

直径約 5cm
長さ約 20cm

PX

・南防給（シンガポール）で新型の細菌爆弾を設計開発したか？



- ・ 設計責任者？
- ・ 設計図？
- ・ 生産計画案？
- ・ 出荷実績？
- ・ など

謎？

増田フィルム



ビルマの部



10:46

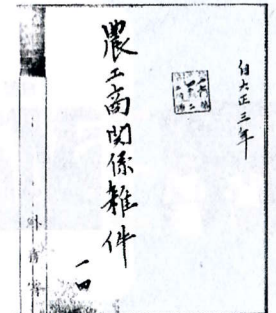
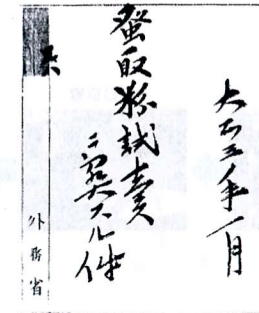
- ・ ある将校
- ・ ランゲーン河、棧橋
- ・ ある建物の廊下に日本刀を持つ増田
- ・ ビルマ寺院の中、素足で手に花増田
- ・ ムービーカメラを手にした増田
- ・ 現地人男女三人、布カバーされた箱の中に、何かを粉に
- ・ 将校らしき人物がネズミ捕獲器を見ている
- ・ 整列する現地人兵士約30人
- ・ Pasteur Institute of Burma (マニラール研究所)
- ・ Harcourt Butler, Institute of Public Health
- ・ 四角井戸型ネズミ飼育施設に室内役と増田？

謎の粉？

ネズミ飼育？



蚤と粉？



アジ歴：B11090045000

表紙
アジ歴：B11090044400

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

増田フィルム



インドネシアの部



08:18

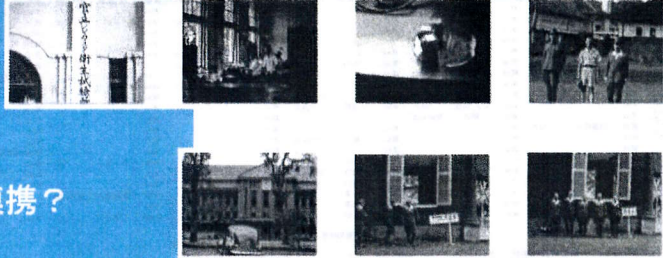
注意：特定できていない人物、建物、場所、街や通り多い

- ・案内された『立入禁止』のある村
- ・山に囲まれた、広い敷地を持つ施設（建物4軒）に、インドネシア民族楽器と日の丸を背に話す白い背広の男性
- ・Bogor 庭
- ・ジャカルタ植物園
- ・整列する31名兵士
- ・官立ジャカルタ衛生試験所、実験室、将校三人
- ・白衣人物
- ・軍医部
- ・フリーメイソン記念館
- ・オランダ人収容所

89

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

何の実験？



軍医部との連携？

90

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

南方軍防疫給水部



目次




業務-2： 細菌兵器（研究、生産）

91

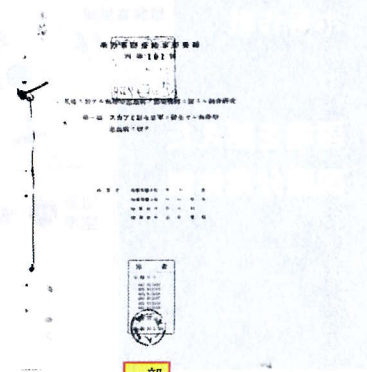
15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

南方軍防疫給水部
研究業績報告
(業報)



11部

アジ歴検索できる



13部

NPO731資料センター提供

92

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

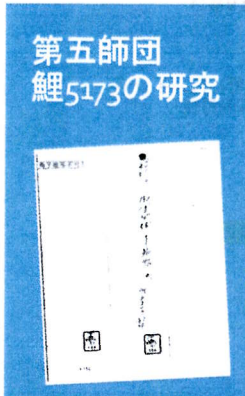
1942年～1945年業報の分布状況図

南防給業報 丙

巻次	著者名	発行年月	巻次	著者名	発行年月	巻次	著者名	発行年月	巻次	著者名	発行年月	巻次	著者名	発行年月
1	第1	第1	第1	第1	第1	第1	第1	第1	第1	第1	第1	第1	第1	第1
2	第2	第2	第2	第2	第2	第2	第2	第2	第2	第2	第2	第2	第2	第2
3	第3	第3	第3	第3	第3	第3	第3	第3	第3	第3	第3	第3	第3	第3
4	第4	第4	第4	第4	第4	第4	第4	第4	第4	第4	第4	第4	第4	第4
5	第5	第5	第5	第5	第5	第5	第5	第5	第5	第5	第5	第5	第5	第5
6	第6	第6	第6	第6	第6	第6	第6	第6	第6	第6	第6	第6	第6	第6
7	第7	第7	第7	第7	第7	第7	第7	第7	第7	第7	第7	第7	第7	第7
8	第8	第8	第8	第8	第8	第8	第8	第8	第8	第8	第8	第8	第8	第8
9	第9	第9	第9	第9	第9	第9	第9	第9	第9	第9	第9	第9	第9	第9
10	第10	第10	第10	第10	第10	第10	第10	第10	第10	第10	第10	第10	第10	第10
11	第11	第11	第11	第11	第11	第11	第11	第11	第11	第11	第11	第11	第11	第11
12	第12	第12	第12	第12	第12	第12	第12	第12	第12	第12	第12	第12	第12	第12
13	第13	第13	第13	第13	第13	第13	第13	第13	第13	第13	第13	第13	第13	第13
14	第14	第14	第14	第14	第14	第14	第14	第14	第14	第14	第14	第14	第14	第14
15	第15	第15	第15	第15	第15	第15	第15	第15	第15	第15	第15	第15	第15	第15
16	第16	第16	第16	第16	第16	第16	第16	第16	第16	第16	第16	第16	第16	第16
17	第17	第17	第17	第17	第17	第17	第17	第17	第17	第17	第17	第17	第17	第17
18	第18	第18	第18	第18	第18	第18	第18	第18	第18	第18	第18	第18	第18	第18
19	第19	第19	第19	第19	第19	第19	第19	第19	第19	第19	第19	第19	第19	第19
20	第20	第20	第20	第20	第20	第20	第20	第20	第20	第20	第20	第20	第20	第20

推定：更に約100冊存在しているかも。。。

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



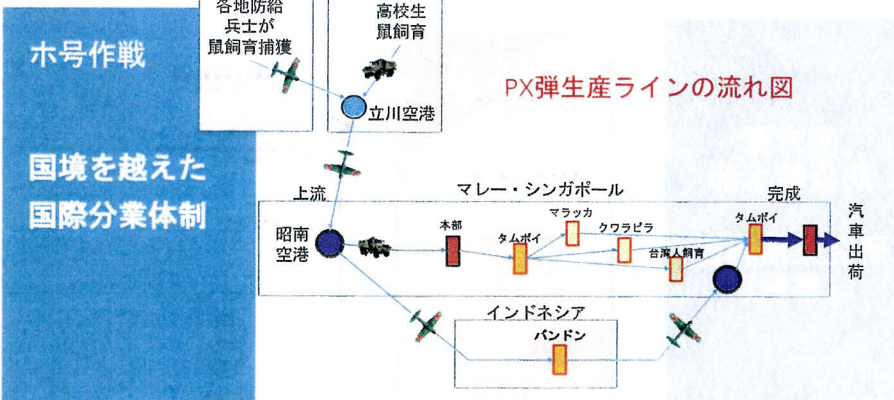
1944年2月15日
アジ歴：C13120684100

第一編 實験方法
目的：...
材料：...
方法：...
結果：...
結論：...

第二編 實験結果
一、...
二、...
三、...
四、...
五、...

間の731か。。。

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



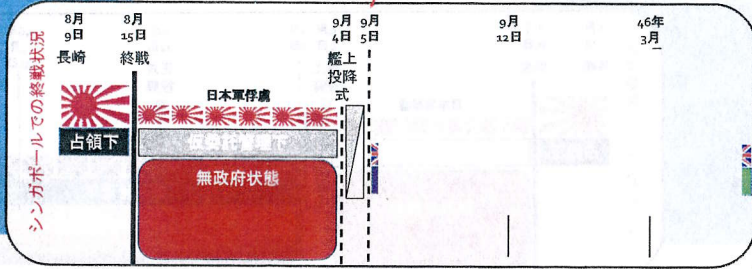
15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

常識を超越した事件

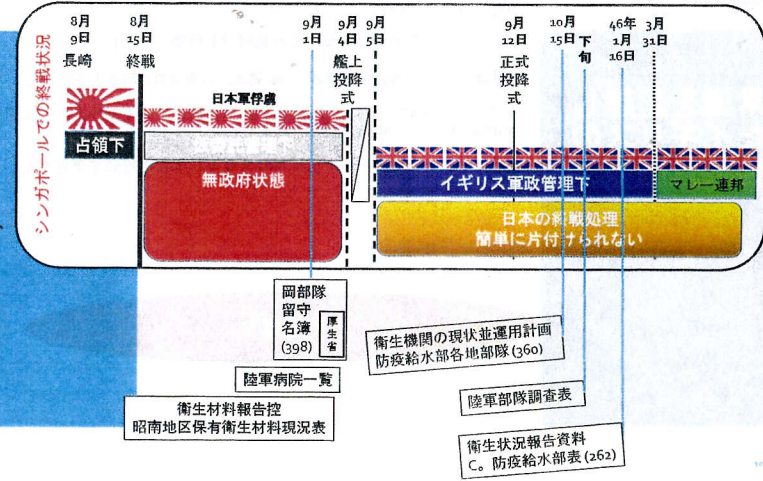
- 9月5日、イギリス軍はシンガポールをイギリス軍政管理 (British Military Administration, 略称BMA)下に置きと発表した。
- 9月5日夜、マラッカで、祖父が投降した日本憲兵に殺害された。



101

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

岡部隊の申告



102

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

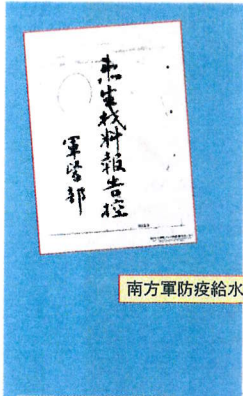
103

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会

ジュロン支部って?

104

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



南方軍防疫給水部

1945年6月1日軍医部提出した
衛生材料報告書
アジ歴 C1612001700

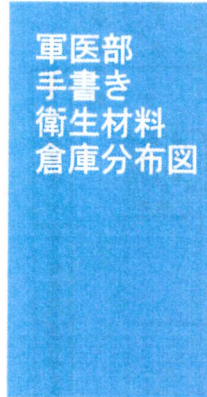
105

英訳されたテーブル
No. 147, 1945
Table of the Army

Unit	Type	Infirmary		Hospital		Dental & clinic		Total	
		staves	occupations	staves	occupations	staves	occupations	staves	occupations
Base	Field Co	6,900	14,000	2,400	2,400	2,400	2,400	14,100	14,100
	P. F. Field Bn.	1,800	1,800	2,200	2,200	2,200	2,200	6,400	6,400
	Regimental Garrison	1,000	4,200	1,400	1,400	1,400	1,400	5,400	5,400
	East Hong. Bat.	1,000	7,000	1,800	1,800	1,800	1,800	7,400	7,400
	Hotel Wanchow	1,000	1,000	2,200	2,200	2,200	2,200	7,200	7,200
General Hospital	General Hospital	300	700	800	800	1,400	1,400	3,200	3,200
	Hospital	800	1,000	4,500	4,500	1,200	1,200	6,500	6,500
	Alms House Hospital	130	20	20	20	50	50	80	80
	Quon	800	800	1,200	1,200	500	500	2,500	2,500
	Wholesale	40	40	40	40	40	40	40	40
P. F. (force)	300	300	800	800	2,600	2,600	3,700	3,700	
Medical College	Medical College	450	300	150	150	900	900	1,500	1,500
	Quon	70	70	70	70	70	70	140	140
Total		10,560	24,210	30,150	30,150	75,750	75,750	240,810	240,810

0273

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



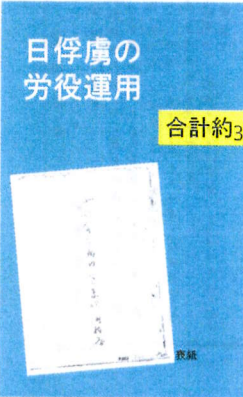
1945年8月
アジ歴 C1612004300

106



(9枚から合成)

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



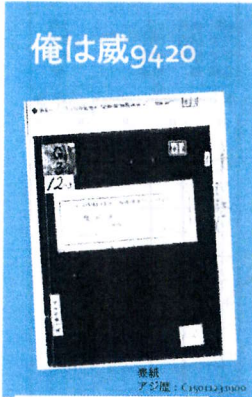
合計約360人

1945年10月
アジ歴 C1612001900

107

0362

15年戦争と日本の医学医療研究会
第46回定例研究会



1945年10月下旬日本陸軍省提出した
帝國陸軍部隊調査表
アジ歴 C1501124090

108

「マ」司令部提出 帝國陸軍部隊調査表
昭和20年10月下旬 日本陸軍省

...
122
123
124
125
126
127

南方軍防疫給水部

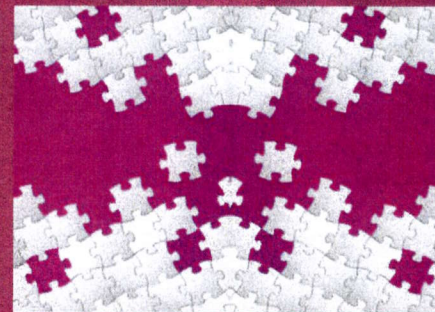


目次

- ・ 東南アジアの背景： 東南アジアと日本軍、『輸出型』
- ・ 南防給調査現状： 組織、分布、人数、不明点多く
- ・ 必須条件： 高温高湿
- ・ 設立： 慌てた経過
- ・ 機能： 南防給本部とマレー支部
- ・ 業務-1： 防疫給水（軍陣、占領地）、防疫報
増田知真のフィルム
- ・ 業務-2： 細菌兵器（研究、生産）
- ・ 戦後の解体： 名称変更、いい加減報告

113

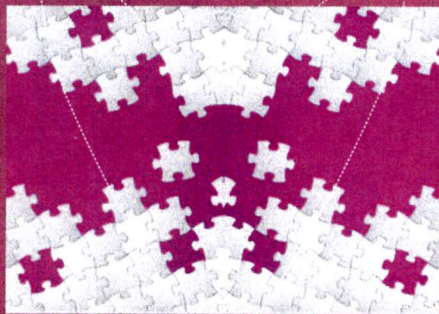
南方軍防疫給水部
（悪魔）
の全体像は？



戦医研の先生方々のご指導ご支援を
大変期待いたしております

114

谢谢



115